

執筆者紹介(執筆順、*は編者)

*中川 淳 (なかがわ じゅん)

担当：第1章

所属・職名：広島大学名誉教授・法学博士（御逝去）

主要著作：『家族法の現代的課題』（世界思想社、1992年）

立石 直子 (たていし なおこ)

担当：第2章

所属・職名：岐阜大学地域科学部准教授

主要著作：「性の多様性と親子観の相対化——里親・生殖補助医療などの視点から——」『法と政治』69巻2号241-264頁（2018年）

鈴木 伸智 (すずき しんち)

担当：第3章

所属・職名：愛知学院大学法学部教授

主要著作：「同性婚と婚姻・婚姻意思」田井義信編『民法学の現在と近未来』（法律文化社、2012年）

手嶋 昭子 (てじま あきこ)

担当：第4章

所属・職名：京都女子大学法学部教授

主要著作：『親密圏における暴力——被害者支援と法——』（信山社、2016年）

遠藤 隆幸 (えんどう たかゆき)

担当：第5章

所属・職名：東北学院大学法学部教授

主要著作：「面接交渉の執行について」棚村政行・小川富之編集代表『中川淳先生傘寿記念論集 家族法の理論と実務』（日本加除出版、2011年）

羽生 香織 (はぶ かおり)

担当：第6章

所属・職名：上智大学法学部教授

主要著作：『『薬の上からの養子』に対する親子関係不存在確認請求と権利濫用』棚村政行・小川富之編集代表『中川淳先生傘寿記念論集 家族法の理論と実務』（日本加除出版、2011年）

梅澤 彩 (うめざわ あや)

担当：第7章

所属・職名：熊本大学大学院法曹養成研究科准教授

主要著作：「ニュージーランドにおける養子縁組法と生殖補助医療法——日本への示唆として——」立命館法学369号・370号53（1383）頁（2016年）

佐々木 健 (ささき たけし)

担当：第8章

所属・職名：専修大学法学部教授

主要著作：『『子どもの代理人』の職務に関する一考察——日独・家事事件手続法改正の比較から——』棚村政行・小川富之編集代表『中川淳先生傘寿記念論集 家族法の理論と実務』(日本加除出版, 2011年)

冷水登紀代 (しみず ときよ)

担当：第9章

所属・職名：甲南大学法科大学院教授

主要著作：『ドイツ法における血族扶養の基本構造と根拠（1）（2・完）』阪大法学53巻2号159頁（2003年）、5号117頁（2004年）

*小川 富之 (おがわ とみゆき)

担当：第10章

所属・職名：福岡大学法科大学院教授

主要著作：棚村政行・小川富之編集代表『中川淳先生傘寿記念論集 家族法の理論と実務』(日本加除出版, 2011年)

松久 和彦 (まつひさ かずひこ)

担当：第11章

所属・職名：近畿大学法学院教授

主要著作：『ヨーロッパにおける夫婦財産制の動向について——ヨーロッパ家族法委員会（CEFL）の活動の紹介——』田井義信編『民法学の現在と近未来』(法律文化社, 2012年)

板倉 集一 (いたくら しゅういち)

担当：第12章

所属・職名：甲南大学法科大学院教授

主要著作：『Ⅷ 異婚給付[103～112]』梶村太市・棚村政行編『夫婦の法律相談〔第2版〕』(有斐閣, 2010年)

花元 彩 (はなもと あや)

担当：第13章

所属・職名：桃山学院大学法学院教授

主要著作：『面会交流支援の間接強制——子の意思または福祉の取扱いをめぐって——』桃山法學27号（2017年）

金 汝淑 (きむ むんすく)

担当：第14章

所属・職名：甲南大学法学院教授

主要著作：『外国判決の承認及び執行——韓国の法状況を中心として——』甲南法学58巻3・4号（2018年）

平田 勇人 (ひらた はやと)

担当：第15章

所属・職名：朝日大学法学院（兼）大学院法学院研究科教授・博士（法学）

主要著作：『AIによる紛争解決支援——法律人工知能——』(成文堂, 2018年)